

Lib. ニュース vol.1

『(仮称)葛飾区立中央図書館』についてお知らせします

金町六丁目地区の再開発事業にあわせて、新中央図書館を整備いたします。整備に先だち、区立図書館の今後の方向性や新中央図書館の基本理念などをまとめましたので、ご覧ください。区内各図書館の行政資料コーナーにあります。

Q、新中央図書館はどこにできるの？金町の再開発事業はどこで行われるのですか？

JR常磐線・京成金町線金町駅南口駅前広場から一街区南側の2番街区・6番街区及び7番街区の一部を区域とする地区で行われ、ここに建設される再開発ビルの3階部分（約5,000㎡）に図書館が入ります。

Q、新中央図書館はどんな図書館になるの？

駅前ということから区内各地域からの利用が想定されます。親子連れから高齢者、今まで利用の少ない学生から社会人まで幅の広い層の利用が可能な施設と、高度な要求にも対応できるような資料、レファレンス体制を整えていきます。詳しい内容については、「中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をご覧ください。

Q、再開発ビルはどんな施設？

地下1階、地上39階の商業・住宅複合ビルです。主な用途は1・2階が店舗、3階が図書館、4～39階が住宅です。その他4～7階に駐車場を設けます。ビル全体を「グリーントワー」というコンセプトのもとで、環境や安全に配慮した工夫を取り入れたビルとなります。

Q、新中央館はいつできるの？

金町6丁目地区市街地再開発事業として、再開発事業のスケジュールにあわせての整備になります。再開発事業は現在、平成20年度中の完成を目途に進めているところです。ビルの完成後図書館の整備を行います。

Q、現在の葛飾図書館はどうなるの？

葛飾図書館は、その一部を区内図書資料の保存書庫と、学校図書館等への図書配送センターとして活用します。その他の利用については、区民の皆さんのご意見を伺いながら今後検討していきます。

Q、一般区民が利用しやすいような施設にしてほしい

新中央図書館は高度な要求にも応えられるような体制を整えつつも、様々な人たちが集い、交流の出来る場所でありたいと考えています。そのため、展示コーナーを設け、区民の方々に利用していただくことを始め、図書館を中心とした区民組織やボランティアの方々の受け入れなど、区民と協働した図書館づくりを行っていきます。

Q、障害がありますが利用できますか？

新中央図書館は、ユニバーサルデザインにより障害がある方への利用に対しても十分な配慮を行います。館内はワンフロアのため段差はなく、安心してご利用できます。車椅子でも利用できるよう、多くの書架は5段の低書架とし、車椅子でご利用できるトイレも男女それぞれに双方に用意しました。オストメイトにも対応可能な多目的トイレも整備します。

視覚障害者へのサービスとして対面朗読室を設けるほか、音訳録音室を完備し、録音テープの作成を進めていきます。聴覚障害者への表示案内も完備したいと考えています。

Q、今後の建設準備スケジュールは？

平成16年度は、区民の方を交えた開設懇談会を開催し、「中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をまとめ、図書館の基本設計を行いました。平成17年度には、実施設計を行い、図書館内装工事の細部を決めていきます。

以降は再開発のスケジュールにあわせて資料の購入準備や組織・運営方針などについての検討を行っていきます。併せて図書館サポーターや友の会のような区民組織の立ち上げについても検討していきますので、図書館からの情報をお見逃しなく。

【新中央図書館ゾーニング案】

